

令和6年度 兵庫県総合体育大会卓球競技 注意事項

【競技上の注意、その他全般】

- 現行の日本卓球ルール及び本大会申し合わせ事項に従って競技して下さい。
- 学校対抗のみ準決勝から公認審判が行います。（タイムアウト制は公認審判員が入る準決勝の学校対抗戦から採択します。）
- 試合球は、VICTAS・ニッタク（クリーンボール）の2種類を用意します。使用希望種が異なる場合は、トスにより使用球を決めてください。
- 試合前の練習（1分間）終了後、ベンチに戻らず、すぐに試合を開始して下さい。
- サービスは、正しくオープンハンドサービスをして下さい。以下にオープンハンドサービスを定義します。
 - ・ サービスの体勢で、指を伸ばした手のひらにボールを置き、必ず静止すること。
 - ・ ボールを投げ上げる手のひらの位置は、必ずプレーイング・サーフェス（卓球台）よりも高く、かつサーバー側のエンドラインより後方でなければならない。
 - ・ ボールをほぼ垂直方向に16cm以上投げ上げ、落下軌道中に打球すること。
 - ・ ボールが手から離れて打球するまでの間、フリーハンドおよびその腕は、ボールとネットで作られる三角形の領域の外に出なくてはならない。
 - ・ サービスを出すとき、サーバーまたはダブルスパートナーの体の一部、または着用しているもので、ボールをレシーバーから隠してはならない。
- タオルの使用は6本ごとに認められます。また最終ゲームは、チェンジエンド時も認められます。
- サービス・レシーブの遅延行為など、パッドマナーと審判が判断した場合は、審判が本部席にすぐに報告に来て下さい。
- 促進ルールも適用されます。試合が長引きそうな場合は、必ず審判が時間を計っておいて下さい。
 - ※ 促進ルールについて
 - ・ ゲーム開始後10分を経過しても1ゲームが終了しない場合、促進ルールが適用される。ただし、10分経過時双方のポイントの合計が18ポイントに達した場合は促進ルールは適用しません。
 - ・ 促進ルールを適用する場合、10分経過時点で審判がストップをかけて、ラリーを中断させる。（中断されたラリーはノーカウント）
 - ・ 促進ルールが適用された場合、残りのゲームは最初から促進ルールを適用する。
- ベンチに入る選手、助言者は白系の服装は控えてください。

【学校対抗の部】

- ベンチに入れる選手はプログラムに登録された8名です。
- ベンチは学校対抗のプログラムの番号の若番の学校が進行席側に入ってください。
- 試合台が1台増すごとに審判要員として1名ずつ追加できますが、未登録の選手は、試合には出場できません。
- ベンチに入れる有資格助言者は、プログラムに登録されている顧問および外部コーチのうち1名です。登録されている顧問および外部コーチが、試合ごとに入れ替わってもかまいません。
- 顧問・外部コーチの変更がある場合の手続きについては、所定の用紙（高体連卓球部HPからダウンロードできます）による変更届を、開会式までに進行席へ提出して下さい。
- 登録されたメンバーは、必ず全員開会式に参加して下さい。参加していない場合は、没収試合になることもあります。
- 選手のメンバー変更は、開会式までに進行席に用紙を提出して下さい。届け出がゲーム開始に間に合わない場合は、その選手はベンチに入ることはできません。
- チームのユニフォームは、統一して下さい。
- オーダーは、1、2番に出た選手で3番のダブルスを組むことはできません。
- 相互審判で行いますので、疑わしいプレーが生じた場合は、進行席に連絡して下さい。
- ゲーム間のアドバイスは1分以内にして下さい。
- 3点先取して勝ったチームは、両校のオーダー用紙を持ってすみやかに進行席に報告に来て下さい。
- 2台進行時、大会初日はダブルスと並行して入れる4番または5番が試合をします。2日目は入れるのであればダブルスと並行して4番のみ、3日目はダブルス後に4・5番が試合を行う。ただし進行状況によっては、変則的な試合の形になる場合もあります。

【個人戦の部】

- 勝者報告・敗者審判です。勝者は試合カードを持ってすみやかに進行席に報告し、次の試合のカードを受け取って、敗者に渡して下さい。敗者はそのコートに残って、次の試合の審判をして下さい。
- 準々決勝からは各ゲームの得点を報告して下さい。
- 助言者について
 - ・ 個人戦の助言者のベンチ入りは、シングルス、ダブルスともにベスト8決定戦以降からとします。ベンチに入れる有資格助言者は、プログラムに登録されている（個人戦のみ出場の場合は、事前に届け出されている）顧問・外部コーチ、および選手であり、そのうち1名だけ入れることができます。同時に複数台で自校の選手が試合をしている場合、それぞれのベンチに有資格助言者が入ることができますが、顧問または外部コーチについては1名しか入ることができません。

- ・ 助言者は、他のコートで試合をしている選手へのアドバイスはできません。
 - ・ 助言者が試合の途中でベンチを離れた場合、再びそのベンチに戻ることはできません。また、試合の途中で助言者が入れ替わることもできません。
 - ・ 観客席からのアドバイスは一切できませんので、厳守して下さい。
- ダブルスの場合は、2人のユニフォームを統一して下さい。

令和6年度 兵庫県総合体育大会卓球競技日程

5月31日（金） （8時45分開館・受付） （9時00分開会式）

- ① 学校対抗 ベスト16まで
- ② ダブルス ベスト8まで （受付 13時：ダブルスのみ出場する選手）
（ダブルスは上記の予定ですが、進行によっては翌日に回すこともあります。また、順位決定戦を行う場合があります。）

6月1日（土） （8時45分開館）

- ① ダブルス 決勝戦まで ※3位決定戦まで行います。（インターハイに向けて）
- ② シングルス ベスト16まで （受付 9時：シングルスのみ出場する選手）
※ダブルスの準決勝を目安にシングルスと並行して行います。
- ③ 学校対抗 ベスト4まで
※順位決定戦を行う場合があります。

6月2日（日） （8時45分開館）

- ① 学校対抗 決勝戦まで
- ② シングルス 決勝戦まで
※順位決定戦を行う場合があります。

【近畿大会出場枠】

学校対抗	男子	8校	女子	8校
ダブルス	男子	16組	女子	16組
シングルス	男子	16名	女子	16名

*同一校からの出場は、フリーパスを除いてシングルス8名、ダブルス4組までとなります。

フリーパス	男T：育英
	男D：高澤・武智, 谷本・板東, 鷹野・福井(育英) 女D：西田・栗林(芦学)
	男S：谷本(育英), 塩屋(滝二), 浦田(三田) 女S：栗林(芦学)

【インターハイ出場枠】

学校対抗	男子	1校	女子	1校
ダブルス	男子	3組	女子	3組
シングルス	男子	6名	女子	7名

【近畿大会日程】

令和6年7月20日（土）～22日（月） YMITアリーナ （滋賀県草津市）

【インターハイ日程】

令和6年8月3日（土）～8日（木） 大村市体育文化センター （長崎県大村市）

*インターハイ、近畿大会に出場の決まったチーム、個人は手続きがありますので帰る前に必ず本部に寄って手続きを行って下さい。

【会場使用上の注意】

- ゴミは各学校、各自で必ず持ち帰って下さい。
- 公共の施設ですから、大切に使用して下さい。
- 貴重品の管理は、各学校・各自で行って下さい。
- フラッシュ撮影は選手のプレーの妨げになりますので、絶対にしないで下さい。
- ラバーの張り替えは、指定された場所のみで行って下さい。

【次大会への特典】

- この大会でシングルス、ダブルスのベスト16に入った1・2年の選手は、兵庫県新人大会に地区の予選なしで出場できます。